

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2025年度）>

燃料電池セルの超高速搬送／積層機構の実用化に向けた研究開発

1. 事業概要

（水素・燃料電池利用促進分野、フェーズC）

〔内容〕

燃料電池セルを従来の4倍以上の速度で自動で連続して供給・搬送・積層する生産システムを、製造ラインの一部として実用化するために必要な技術を開発する。また、移動体用だけでなく定置用及び水電解装置にも適用できるように上記技術の汎用性を高める。

〔背景・経緯〕

水電解装置及び燃料電池は脱炭素・低炭素社会において電気を作り、使う上で要となる製品である。しかし、価格が一つの課題となっており、より安価な部材検討のほか、製造コスト低減が望まれている。

〔狙い、波及効果〕

生産能力向上と、簡易な機構の選択・汎用性の確保による設備費用低減により、燃料電池および水電解装置の製造コストダウンに寄与する。

〔事業化〕

2029年以降、国内外の燃料電池メーカーおよび水電解装置メーカー向けに販売することを目標とする。

2. 株式会社ムツミ工業株式会社

本社所在地	愛知県名古屋市北区瑠璃光町5-1
設立／資本金	1949年/ 3200万円
従業員数	72名（西暦2026年3月現在）
事業内容	プレス金型・専用機的设计製造

3. その他機関

あいち産業科学技術総合センター

- ・ 積層したスタックの評価（リークテストを実施）
- ・ 研究開発全般に対するアドバイス

